

指定場所にコピー保存チュートリアル

指定場所にコピー保存_チュートリアル.zip



指定場所にコピー保存_概要

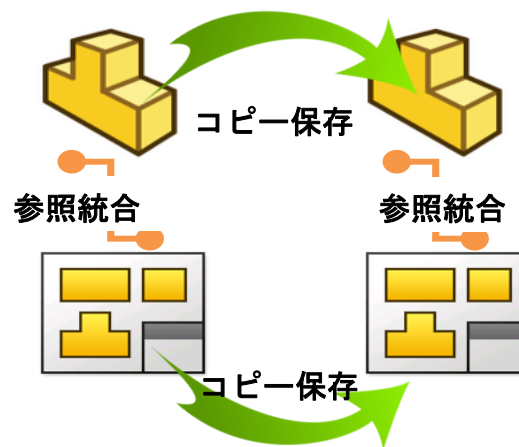
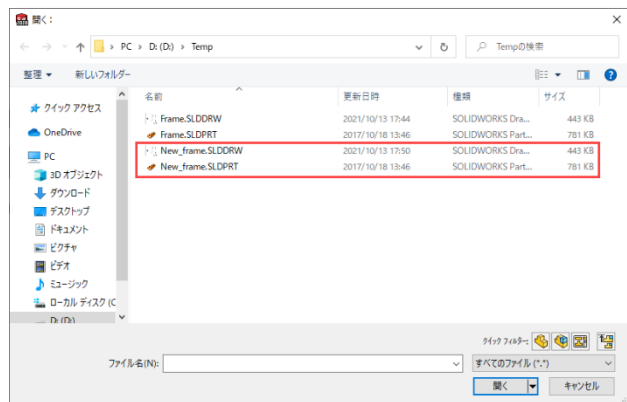
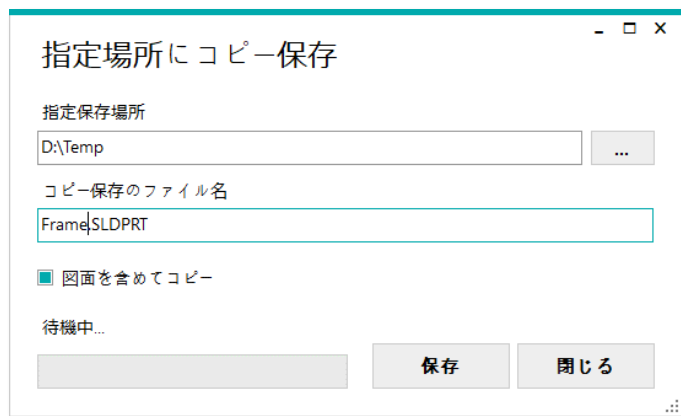
主な機能

- 現在開かれている部品ドキュメントを図面と一緒にコピー保存
- モデルに参照された図面の自動探索機能
- コピーモデル、図面ファイルの自動参照

業務効果

- 既存モデルと図面のリサイクルが増加
- 参照エラーの防止
- 指定された場所に繰り返し保存ができるため、探索時間の効率が上がる

🎯 レッスン目標：レッスンを真似しながら指定場所にコピー保存の使用法を学ぶ



参照ファイルの位置編集

セルをクリックしてテキストを編集またはダブルクリックしてマウスカーソルを開始

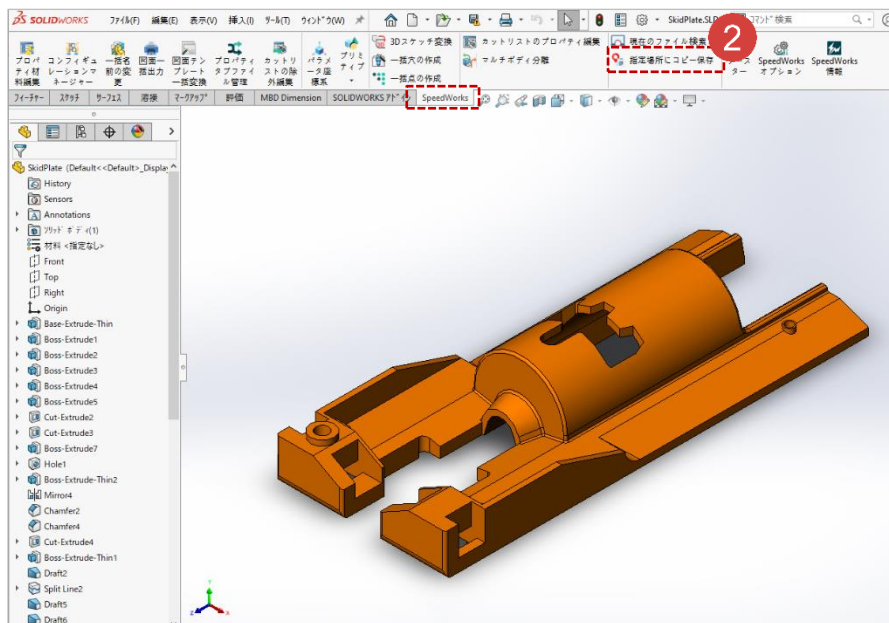
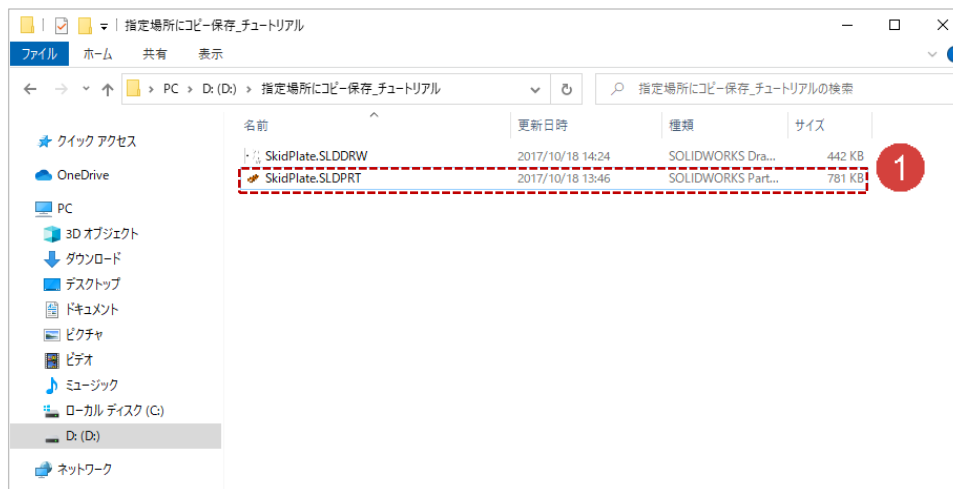
名前	フォルダ内
New_frame.SLDPRT	D:\Temp

指定場所にコピー保存_実行

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

① 例題のファイル中SkidPlate.SLDPRТを実行します。

② [SpeedWorks]タブ- [指定場所にコピー保存]をクリックしてツールを実行します。

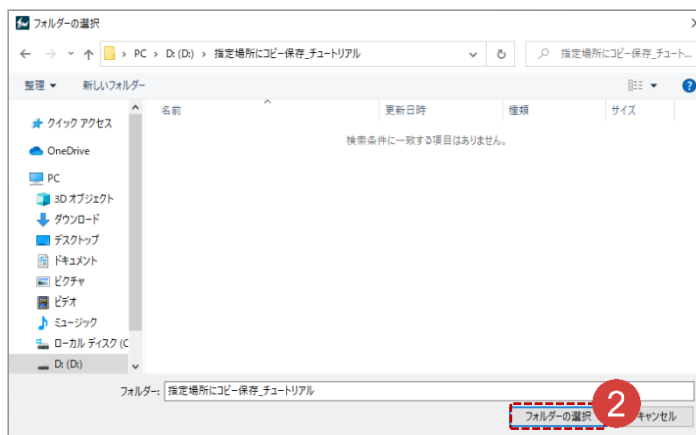
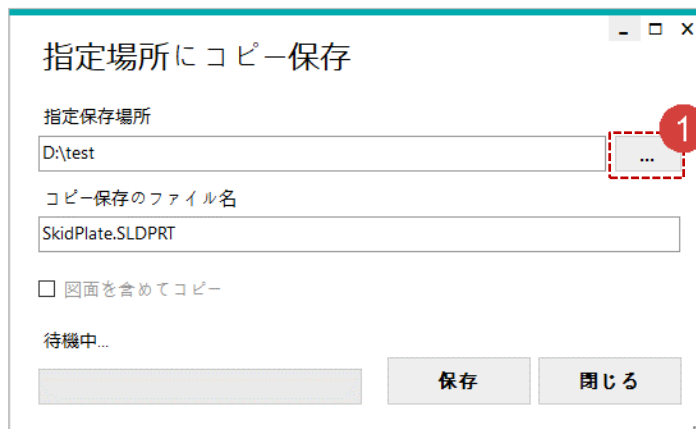


※例題ファイルは、SpeedWorksホームページのお客様サポート
 >資料室 (<http://www.speedworks.info>) でダウンロードできます。

指定場所にコピー保存_場所の指定

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

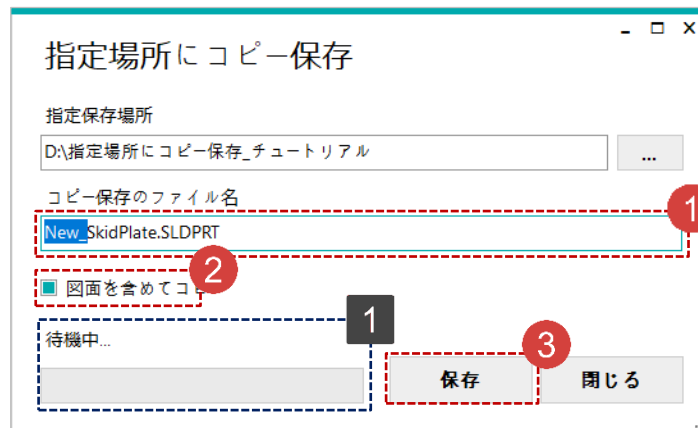
- 1 コピー保存の場所を指定するために[指定保存場所]の[...] ボタンをクリックします。
- 2 例題フォルダーを場所に指定した後、[フォルダ選択] ボタンをクリックします。



指定場所にコピー保存_名前の変更と保存

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

- 1 [コピー保存のファイル名] 既存ファイル名の前に 'New_' を追加します。
- 2 [図面を含めてコピー] をチェックします。
- 3 [保存] ボタンをクリックします。



- 1 保存が行われる状態が表示されます。

指定場所にコピー保存_成果物の確認

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(2)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

① 指定した保存場所にコピーが作成されました。その中でNew_SkidPlate.SLDDRW ファイルを実行します。

② 原本図面のタイトルと新しく作成されたファイルのタイトルを比較します。

☞ コピーで作成された図面は原本部品ではないコピーで作成された部品を参照しています。

